

- 13時30分～13時35分 開会挨拶 摂津市 保健福祉部 理事(保健福祉課・高齢介護課・健都まちづくり推進担当) 平井貴志
- 13時35分～13時45分 健都共創フォーラムと「運動マネジメント研究会」の概要説明 新産業文化創出研究所 廣常啓一
- 13時45分～ 産学連携、企業連携、学学連携、地域連携など共創による実証フィールド活用プロジェクト企画提案
(企画推進、また実施主体となる機関からの発表)
- ① 13時50分～14時00分
「コロナ禍における健都の健康行動を通じた健康リテラシーや仲間づくりの試行」 大阪経済大学 人間科学部 教授 高井逸史氏
- ② 14時00分～14時10分
「こどもに対する気づきの健康教育が、親(家族)の健康への行動変容に結び付くことの実証」 大阪成蹊大学 経営学部 教授 植田真司 氏
- 14時10分～14時15分 質疑応答、及びディスカッション
- ③ 14時15分～14時25分
「健都における社会復帰率向上にむけた共助文化の育成の実証」 株式会社フィリップス・ジャパン 成川 憲司 氏
- ④ 14時25分～14時35分
「スマホアプリ活用によるｽﾎﾟｰﾂIPを活用した地域健康ﾘｰｼｮﾝの実証」 リアルワールドゲームス株式会社 代表取締役社長 清古貴史 氏
- 14時35分～14時50分 質疑応答、及びディスカッション
- ⑤ 14時50分～15時10分
「ソーシャルマーケティングによる行動変容と共創の実証手法について」 同志社大学ソーシャルマーケティング研究センター
センター長 瓜生原 葉子 氏
- 15時10分～15時20分 質疑応答、及びディスカッション
- 15時20分～15時50分 全体ディスカッション 登壇者だけでなく研究会参加者で実証の協力提案や共創提案などを議論。
- 15時50分～15時55分 実証プロジェクトの方向性について／研究会の部会WG(共創・実証プロジェクト)について
- 15時55分～16時 次回以降について／アンケートのお願いと活用

健都共創フォーラム



北大阪健康医療都市

健 都

主催：吹田市 摂津市

試行的研究会「運動マネジメント研究会」概要説明

2021年8月30日

説明：（事務局）新産業文化創出研究所（ICIC）
廣 常 啓 一



北大阪健康医療都市

クラスター形成

国循、医薬・健栄研、
コプロ・Iウォーター等進出企業

健康・医療クラスター形成 オープンイノベーション推進

アカデミア（学）・企業（産）中心
学学連携・企業連携・スタートアップ⇒ ヘルスケア産業の創出
産学連携、企業連携の促進による
イノベーションの創出共創の実証フィールド
地域課題やニーズ
健康データを提供
シーズ活用の地域事業の構築

仕組み

助言指導
研究成果の還元

実証フィールド形成



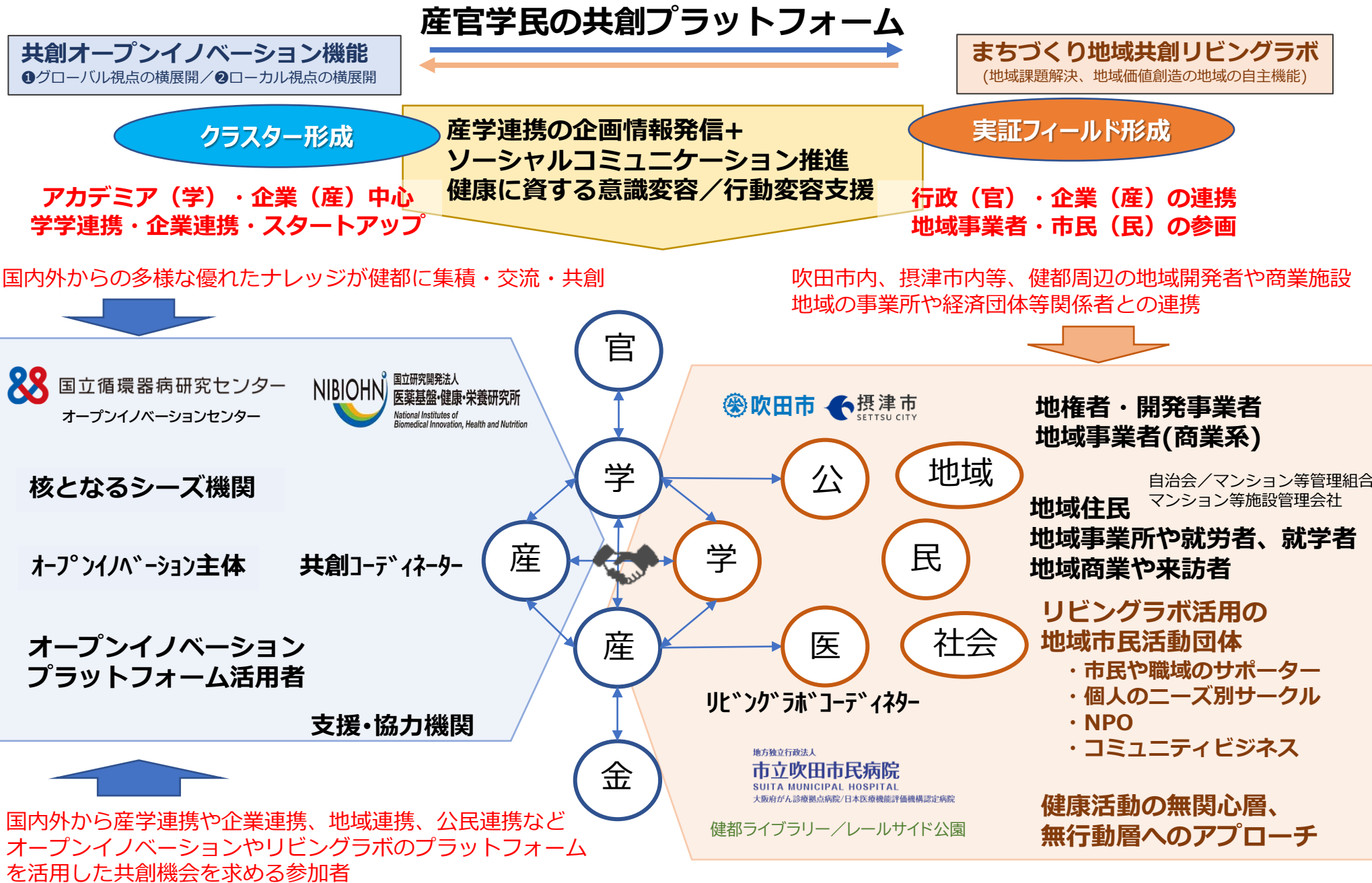
VIERRA

健都レールサイド公園
健都ライブラリー・市民病院

健康・医療のまちづくり 「健都モデル」リビングラボ

行政（官）・企業（産）の連携
地域事業者・市民（民）の参画⇒健康への意識を変え
新しいライフスタイルを創造
リテラシー向上から行動変容までまちづくりとイノベーションの好循環で地域活力の創出
※好循環を生み出す「仕組み」づくり、共創のプラットフォームの形成と
両者をつなぎコーディネートする担い手が必要

試行的な取り組みテーマと実証プロジェクトによって実現を目指す





健都での活動を、
吹田市内、摂津市内全域を実証フィールド
として国内外の他地域との連携や横展開



健都共創フォーラム

5/25と7/5
健都機関共創機能紹介
研究会説明会／ピッチ

関連セミナーや活動報告等

新たな
産学連携・企業連携テーマ募集
地域連携・実証事業テーマ募集

試行的にスタートする
産学連携・企業連携テーマ発表募集
地域連携・実証事業テーマ発表募集

各発表者との共創希望のアンケート回収
共創テーマの設定と共創内容の発表募集

試行的研究会

●運動マネジメント研究会 8/30～
●オーラルヘルス研究会 9/14～

研究会の継続

産学連携・企業連携プロジェクト設定とチームビルド
地域連携・実証事業プロジェクト設定とチームビルド

各研究会 1～2件程度

部会・WG

複数の部会WGの設定（オープン及びクローズドで実施）

地域実証プロジェクト

プロジェクトの計画支援
地域実証協力者の募集

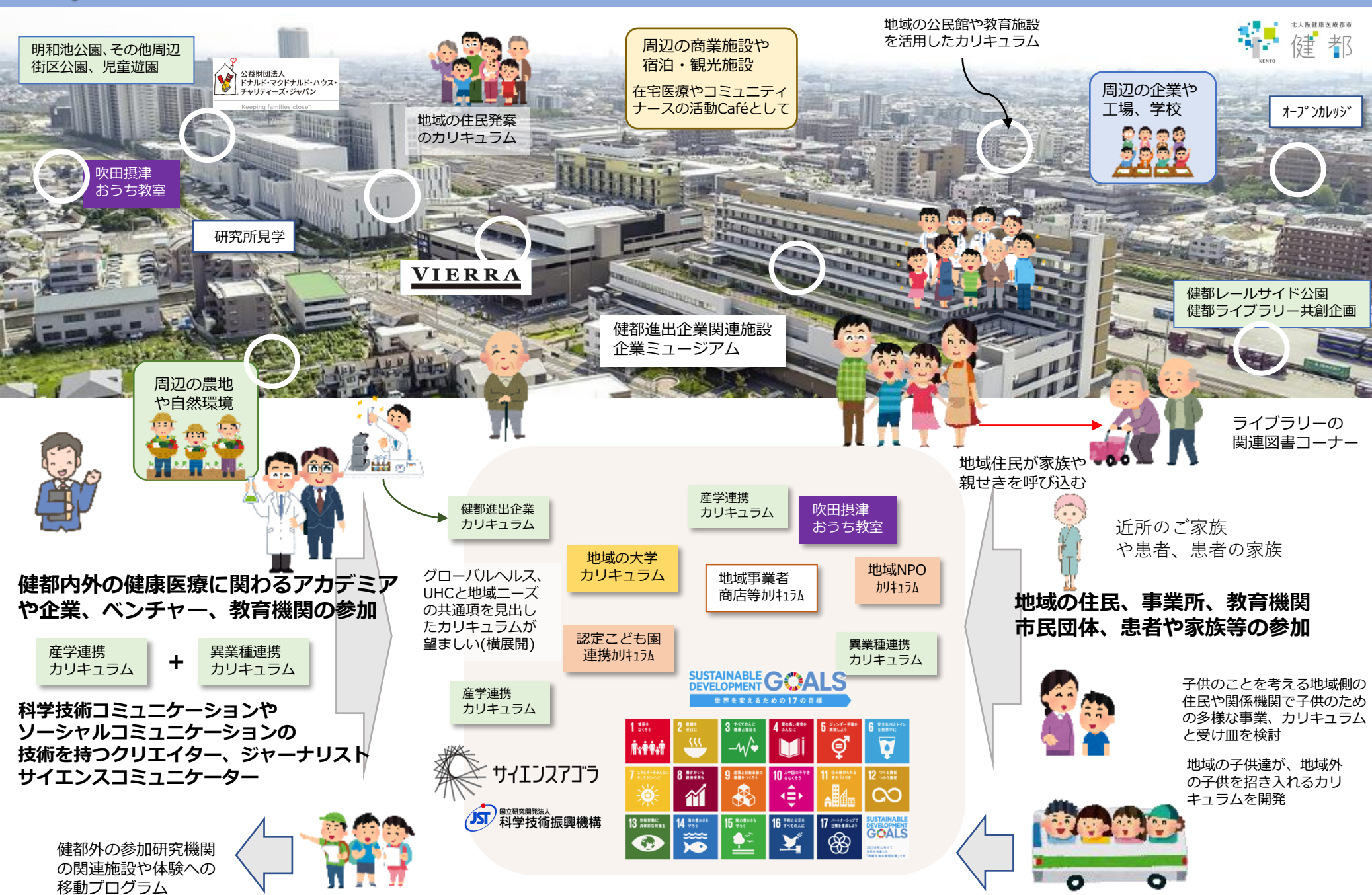
（地域事業者や施設、市民や市民団体などのサポーター）

実証プロジェクト
地域の理解増進・合意形成

実証プロジェクトの開始

ソーシャルコミュニケーション活動

- 研究会・部会・プロジェクトの幅広いコーディネート、関係者メンタリング
- 産学連携や企業連携などのビジネスマッチング
- 地域連携や実証フィールド、実証協力主体とのマッチング、実証の支援
- 吹田市、摂津市、また健都の様々なフィールドや活動主体の形成や育成、活用
- テーマに応じた市民サポーターの募集と連携コーディネート
- 地域や市民に対するソーシャルコミュニケーション活動の技術や機会の提供
研究者や専門家、実施・運営機関、表現・教育関係者などとの連携
- 健都で進みつつある様々なプロジェクトや機能の活用、プロジェクト化支援
- 様々な公的支援(国や自治体等)の補助金や委託業務、プロジェクトや
支援機能の活用、コンソーシアム等の組成や公募の支援
- 民間ファンドや融資の活用、制度の設計、ほか





北大阪健康医療都市

健 都

**産学連携、企業連携、学学連携、地域連携など共創による
実証フィールド活用プロジェクト企画のご提案
(企画推進、また実施主体となる機関からの発表)**

- 「コロナ禍における健都の健康行動を通じた健康リテラシーや仲間づくりの試行」 10分
大阪経済大学 人間科学部 教授 高井逸史氏
- 「こどもに対する気づきの健康教育が、親(家族)の健康への行動変容に結び付くことの実証」 10分
大阪成蹊大学 経営学部 教授 植田真司 氏
- 質疑応答、及びディスカッション 15分程度
- 「健都における社会復帰率向上にむけた共助文化の育成の実証」 10分
株式会社フィリップス・ジャパン ECビジネス マーケティンググループクリニカルスペシャリスト成川 憲司氏
- 「スマホアプリ活用によるスポーツIPを活用した地域健康ソリューションの実証」 10分
リアルワールドゲームス株式会社 代表取締役社長 清古貴史 氏
- 質疑応答、及びディスカッション 15分程度
- 「ソーシャルマーケティングによる行動変容と共創の実証手法について」 20分
同志社大学ソーシャルマーケティング研究センターセンター長 瓜生原 葉子 氏
- 質疑応答、及びディスカッション 10分程度
- 全体ディスカッション 登壇者だけでなく研究会参加者で実証の協力提案や共創提案などを議論。 30分
- 実証プロジェクトの方向性について／研究会の部会WG(共創・実証プロジェクト)について 10分
- 次回以降について／アンケートのお願いと活用

アンケートの記載フォームは
後日、参加者全員にメールにてお送りいたします。
ご記載のご協力、宜しくお願い致します。